

2020  
**1**  
January Vol.46

# JAしまねびより

◀ 今月の特集 ▶ 島根のいいもの再発見!! 「益田市 スイセン」 西いわみ地区本部



京村牧場から見る雲海  
(津和野町 左鏝)

Naomichi  




# 謹賀新年

初春の  
お慶びごと  
中がき

代表理事組合長 石川 寿樹

代表理事副組合長 山根 盛治

代表理事専務 高木 賢一

代表 監事 名原 佳宏

役職員一同





代表理事組合長  
石川 寿樹

新年あけましておめでとうございます。  
組合員の皆様には、健やかに新年をお迎  
えのこととお慶び申し上げます。

今年も無事に新年を迎えられましたの  
も、組合員の皆様をはじめ、地域の皆様  
のご理解とご協力の賜物と心から感謝申し上  
げます。

昨年は元号が令和に改まり、新しい時代  
の幕開けとなりました。令和2年がJAし  
まねにとって飛躍の年となりますよう役職  
員一同、励んで参りたいと存じます。

また、昨年は全国各地で台風や豪雨など  
多くの自然災害が発生し農産物や農業施設  
等に甚大な被害が発生いたしました。被災  
された皆さまに心よりお見舞い申し上げます  
とともに、本年は災害のない穏やかな年  
になりますことを願っております。

さて、JAしまねは本年3月で統合5周  
年を迎えます。統合効果を更に実感あるも  
のとし、組合員の皆様に見ええる形で還  
元していくため、自己改革と事業改革を車  
の両輪として位置づけ、スピード感を持つ

て取り組んでいかなければなりません。

自己改革においては、「農業者の所得増  
大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の  
3本柱を掲げて取り組んで参りました。  
昨年6月には、島根県と「包括業務提携  
に関する協定」及び「島根県農業産出額  
100億円増の早期達成に向けた共同宣  
言」を締結いたしました。JAしまねにお  
いても「第2次農業戦略実践3カ年営農計  
画」のもと、農畜産物販売高を39億円増や  
し、416億円とする目標を掲げておりま  
す。統合したことによるスケールメリット  
を活かし、営農指導の強化や生産資材価格  
の低減、また、U・Iターン者の新規就農  
支援や生産拡大を図る農業者のためのリー  
ス事業の展開など、目標達成に向けて組合  
員の皆様と共に取り組んでいく所存です。

これらを実現するためには、支援できる  
経営の健全性確保に向けた取り組みが求め  
られますが、日銀のマイナス金利政策や少  
子高齢化等により信用・共済事業の収益減  
少が避けられない状況にあります。このた  
め、JAしまねの収支構造の迅速かつ抜本  
的な改革を実施する必要性に迫られており、  
本店・地区本部一体となった組織再編が必  
要であります。

まず一つ目は、信用事業のあり方の見直  
しを図ります。本年2月末をもって各地区

本部の金融・共済部署を発展的解消し、本  
店と地区本部の重複業務を本店に集約する  
ことで機構、人員を見直し、信用事業のス  
リム化・効率化を進めていきます。

また、金融店舗、ATM等については、  
地域の生活基盤としての役割・利便性を確  
保しつつ、採算性や効率性を十分検討し、  
施設の集約や再配置、広域利用、運営方法  
の見直しも平行して進めていきます。

二つ目の重要課題は営農経済事業改革で  
あります。昨年より、経営基盤強化支援と  
して、全農、農林中金、三菱総研にコンサ  
ルトメントに入っていたいただいております。営農経  
済事業の収支改善に向けた取り組みを進め  
ております。

大変厳しい経営環境の中ではあります  
が、今後も組合員、地域の皆様から、「信  
頼され、選ばれ、必要としていただけるJ  
A」を目指し、役職員一丸となって改革を  
推し進めて参ります。組合員の皆様におか  
れまして、ご理解とご協力を賜りますよ  
うお願いいたします。

結びに、組合員、地域の皆様にとりまし  
て、本年が実り多く、健康で明るい年とな  
りますようお願い申し上げます。年頭の挨拶と  
させていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



島根には誇れる農産品がたーっさん!

# 島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

## 益田市 スイセン

1月は、西いわみ地区本部。益田市でスイセン作りに取り組む両見勝さんにお話を伺ってきました。



### 昔から身近にあった スイセン

スイセン栽培が盛んな益田市鎌手地区。スイセンは今や益田市の花として有名ですが、このあたりでは昔からあらゆる場所で自然に咲いていたそうです。両見さんが幼い頃は、自生していたスイセンを摘み取り、最寄り駅に持っていくと業者の人が汽車で広島の花市場まで届けてくれるような「お小遣い稼ぎ」の仕事がありました。その後、両見さんは郵便局員として働きながら米や麦を作る兼業農家をしていましたが、1970年代から始まった国の減反政策で稲作を少なくすることを余儀なくされま



お話を伺った両見勝さん。

した。また、畑では葉タバコを作る農家もありましたがそれも減少していき、皆が試行錯誤しながら生活する時代を送っていました。そんな時、隣の三隅町（現・浜田市）に火力発電所が建設されることになり、その予定地の用地買収が始まる前にお願いで、自生していたたくさんのスイセンの球根を掘らせてもらいました。1983年頃からそれらを休耕田に植え、商品用のスイセン栽培を本格的にスタートさせました。



整列して植えられたスイセン畑。

### 手探りで始めた スイセン栽培

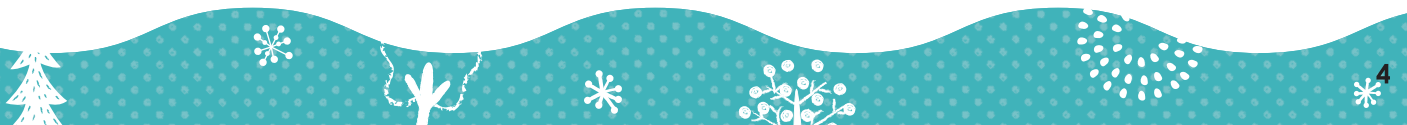
スイセン栽培を始めた頃、何軒かの農家が集まり「鎌手

水仙部会」を結成。当時はその中で一番若かったという両見さん。栽培方法もよくわからず、ただひたむきに球根を植えていきました。最初はひとつずつ球根を植え、それが5、6年経つと繁殖しどれも皆きれいな花を咲かせるような球根に育っていきます。この作業を何年も繰り返し、球根は増え続け、今では複数の畑を所有するまでに広がりました。時には国内でも有名なスイセンの産地である福井県越前町や兵庫県の淡路島などへ視察に出かけ、栽培方法について学びました。

スイセンは他の花に比べると作りやすく、特に肥料などを必要とすることなくきれいな花を咲かせます。また、他の農作物に比べ機械は要らず、一年を通して草刈機が



スイセンの球根。自然に分球し、繁殖していく。







長いスイセンが良いとされるため、周りの雑草を支えとして利用する。そのため、わざと草刈りをしないそう。

あれば十分なのでコストを抑えながら栽培することが可能です。しかしここ最近では気候の変化のせいか「なかなか思うような花が咲かなくなってきた」と語る両見さん。それでも水仙部会の中で色々な情報をやり取りし、良さそうな肥料や植え付け方法を少しずつ試しながら現在も栽培に取り組んでいます。

### いちばん寒い時期が 出荷のピーク

通常スイセンは、4月頃に葉っぱがすべて枯れ、しばらく過ぎた6月から球根を掘り起こします。その後、それらの球根を干しておき、9月頃に定植していきます。例年11月の半ばから花が咲き始め、12月には出荷の時期を迎えます。出荷する際にいちばん条

件の良い状態は、「葉っぱが4枚、花が4つ」ついでいて、さらに「はかま」と呼ばれる球根の上にある白い筒状の部分の長さで優劣が決まるため、これを一本ずつ丁寧に分けていくのにとっても労力がかかります。また、スイセンの出荷ピークは一年で最も寒い時期。基本的に露地栽培なので、天気が悪い日の切り取り作業は非常に大変です。それでも出荷日は決まっているので、雨や雪が降ったり冷たい風が吹く中でも作業を行わなければなりません。



根元近くの「はかま」と呼ばれる部分。

### スイセンが 地域を元気にする

毎年、鎌手小学校では「スイセン学習」と題し3年生の

児童が両見さんの畑で作業を行います。児童たちは、球根掘りから定植、そして花の切り取りと一年を通してスイセンの成長を学ぶことができます。この校外学習は都会地など他の地域ではなかなかできない貴重な体験であり、約20年前からずっと続く鎌手の大切な行事となっています。併せて年末には、萩・石見空港で羽田からの搭乗者にスイセンの花束を手渡すキャンペーンも行われています。鎌手の子どもたちにとっては、スイセンはいちばん身近な花であり、この地域を知り、PRするため大切な存在となっています。両見さんもこのスイセン学習を通して育まれる地域の子どもたちとの繋がりを大切にしています。

### 次の世代の人にも 届けたい

こうして、地域を元気にし交流の場を提供してくれるスイセンですが、年齢を重ねていくうちに畑での作業が体力的にきつくなってきたという両見さん。最近、葉が枯れた後の球根をそのまま据え置き栽培し、主に切り取り作業に専念しているそうです。水仙部会のメンバーも皆ほとんど高齢になってきています

が、次の世代を担う若手の後継者がなかなかいないのが現状。昨今、ど

この農家でも抱えている課題ではありますが、両見さんは毎年楽しみにしている人たちのためにも、この美しいスイセンを次世代に繋いでいきたいと願っています。



週3回の集荷日に合わせて切り取り作業を行う。

### スイセン 一口メモ

さわやかで柔らかな香りが特徴のスイセン。益田市鎌手地区にある「唐音水仙公園」には、例年12月の終わりから2月にかけて白いスイセンが一面に広がります。日本海を背に広がるスイセンの丘の景色は圧巻で、写真を撮りに訪れる人もたくさんおられます。この公園のスイセンは鎌手地区の住民が何十年もの間ひとつずつ球根を植えた言わば手作りの花畑。住民の思いが詰まった絶景を見に、ぜひ訪れてみてください。





西いわみ地区本部 **新鮮市場 あおの**



野菜生産部会の木村大輔部会長

産直へようこそ!!

島根県内の産直店舗を「紹介」します。

島根県内の産直店舗を「紹介」します。

島根県内の産直店舗を「紹介」します。



県内でも有数の観光地である津和野町。そんな津和野町の道の駅内にある産直「新鮮市場あおの」は、里山と「山陰の小京都」の食文化を支える山の幸が勢ぞろいし、観光客や地元の人々で賑わう。

今年の3月にリニューアルされた売り場に並ぶのは、全て津和野町産の新鮮な農産物と加工品。冷蔵・冷凍設備を新たに設置し、これまで以上に多彩な商品を扱えるようになった。約140人の野菜生産部会員から出荷される商品の中には、他の産直では見かけない珍しいものもあるという。当日も津和野産サトウキビが陳列されていて、取材班も驚いた。生産部会の木村大輔部会長は「県外からのイターン就農者による新しい



ガーリックオイルや冬瓜ジャムなど加工品も津和野産



冬が旬(!?)の津和野町産サトウキビ!

も、研修を終えた新規就農者が同産直へ出荷し、産直が賑わうことを心待ちにしている。1月にはイチゴや葉ワサビといった冬の農産物が並ぶ。また、農産物が少なくなる冬の時期でも、道の駅近くの加工所を活用して加工品を充実させるなど、1年を通して訪れる人々にとって魅力的な産直となるよう創意工夫を凝らす。

道の駅津和野温泉なごみの里には、同産直のほか、日帰り温泉やレストランが併設されており、津和野の新たな魅力を発見できる。津和野を訪れた際にはぜひ立ち寄りたい。



小京都の冬を代表する味覚のひとつ 葉ワサビ



陳列箱で津和野の観光名所を紹介 さすが観光地の産直です



店名：新鮮市場 あおの  
 所在地：島根県鹿足郡津和野町鷺原イ256  
 (道の駅 津和野温泉なごみの里 内)  
 TEL：0856-72-4122  
 営業時間：9:00~21:00  
 定休日：年中無休



雲南

## 雲南女性部大東支部 男の料理教室開催

J Aしまね雲南女性部大東支部は11月30日、雲南市大東町の佐世地区振興協議会の生涯学習部と共催で「男の料理教室」を同町の佐世交流センターで初めて開催しました。

参加者の募集は協議会が行い、32歳から72歳までの8人が集まりました。女性部は講師として参加。見事な包丁さばきを見せる参加者もあれば、日頃から調味料を目分量で加えている人は計量に四苦八苦するなど和気あいあいと進め、家の光協会が発行する『家の光』に掲載された「牛肉入りキムチごはん」「ハクサイのぐつぐつ煮」「カリフラワーの和風ポタージュ」の3品を作り上げました。家庭菜園で無農薬の野菜を作ることもある吉木文雄さんは「普段から簡単なみそ汁などは作っているが、今度は自家製の野菜を使って家族に振舞いたくなった」と笑顔で講座を振り返りました。

大東支部の高橋美佐子部長は「女性部のことを地区の男性に知ってもらえるいい機会になった」と話し、今後は他の地区にある活動団体とも協力して、女性部活動の輪の更なる拡大に意欲を見せます。



料理の手ほどきをする女性部員

くにびき

## 防犯訓練実施！ 職員が防犯の意識高める

くにびき地区本部は12月6日、乃木支店で、松江警察署の協力のもと防犯訓練を実施しました。

同訓練は犯罪が増える年末に向け、防犯マニュアルや役割分担などの再確認と意識の高揚を図り、犯罪の未然防止や早期解決につなげることを目的に実施するものです。

当日は、店内に2人組の強盗が入ったという想定で訓練を開始。強盗に扮した警察官が来店者役の職員を人質にとり、本物さながらに金を出すように脅迫。職員はマニュアルに従い、非常通報装置を押したり、人質の救護をしたりするなど、緊張しながらも適切な対応をとりました。また、聞き込み役の警察官に、逃走した犯人の容姿や車両ナンバーなど、早期解決に向けた情報を伝えました。

訓練終了後、同警察署の生活安全課岡田仁係長は「何よりも命を守ることが重要。そのうえで、それぞれの役割を再度確認してほしい」と注意喚起し、春木透支店長は「職員全体で防犯意識を高めていきたい」と話しました。



早期解決に向け、情報を伝える職員

隠岐

## ご来店感謝デーを実施

J Aしまねの全支店で12月13日（金）、日頃のご愛顧に対する感謝の意をこめて「ご来店感謝デー」を実施しました。隠岐地区本部では管内4か所の各支店・店の窓口において実施し、多くの組合員、J A利用者へご来店いただくため、店頭での看板告知やイベント開催予告チラシ配布を行い、当日には約300名のお客様にご来店いただきました。ご来店いただいたお客様には、「年末に必要なお掃除用品や日用品の詰め合わせ」をプレゼントさせていただきました。ご来店された組合員からは「えっ、こんな物もらっているの！今日来てラッキーだわ」など喜んでいただきました。

また、「J Aでホッと一息」をコンセプトに店舗内にコーヒーやお茶を楽しんでいただけるコーナーを設け、J Aと組合員とのコミュニケーションの場を設けさせていただきました。

J Aしまねは、今後とも組合員・利用者の皆様の期待に応えられるよう、一層取り組んで参りますので、引き続きのご愛顧をよろしく願います。



やすぎ

## やすぎ苺 出荷本格化

島根県最大の苺産地である安来市で11月15日、今年度の共選出荷が始まり、これから出荷が本格化してきます。今の時期に出荷される苺は開花から40日以上かけており、手間ひまをかけた分糖度が増すためとても甘く、市場でも好評です。

やすぎ苺部会は、63戸の農家が584アールで栽培しており、U・Iターンの若手新規就農者からベテランまで幅広い層の農家で構成されています。出荷は来年5月末頃まで予定しており、島根と鳥取の5市場へ「紅ほっぺ」84.5トン「章姫」36.2トン「かおりの」12.1トン約1億5,900万円の販売を目標としています。

同地区本部の苺担当の黒田真一係長は「安来の苺は冬から春まで長期間にわたり出荷をしておりますので、ぜひ味わっていただきたいです」と話しました。





斐川

## あぐり探検隊 「餅つき」「そば打ち」体験

12月8日、斐川地区本部料理教室「ひかわアグリキッチンふぁみーゆ」で、今年最後の農業体験活動「あぐり探検隊」を開きました。隊員とその保護者15名が参加し「餅つき」と「そば打ち」体験をしました。「餅つき」で使用したもち米は、今年5月に隊員自ら田植えをし、刈り取ったもち米を使用しました。事務局と女性部が手ほだきをし、約20キロを昔ながらの臼と杵を使って挑戦し、隊員たちは力いっぱい杵を振り下ろして餅をつきました。また、斐川産のそば粉（出雲の舞）を使用した「そば打ち」では、荘原地区の糸賀充氏と高橋義孝氏の指導の下、隊員たちは真剣な眼差しでポイントを学びました。担当職員は「この活動を通して子供たちが少しでも農業に関心を持ってくれると嬉しい」と話しました。隊員たちは全講座を修了し、食べ物の大切さ、農業の大変さを学びました。



隠岐  
どうぜん

## 来店感謝デー開催

師走の年金支給日12月13日（金）に毎年恒例となった来店感謝デーを実施しました。

当地区本部3支店の統一粗品として、JA海士町農産加工場で海士町産もち米を使用して製造した「紅白餅」を日頃の感謝を込めて来店者にプレゼントしました。また西ノ島支店では、この時期利用者の要望と評判の高い「石焼き芋」を早朝から準備し、そしてグリーンストア（西ノ島）では歳末商品と直売野菜などの「割引歳末大売出し」を同日開催し、多くの方に来店いただきました。



石見銀山

## 農業用廃プラスチック回収

石見銀山地区本部が参画する大田市環境にやさしい農業推進協議会農業用廃プラスチック適正処理部会は12月2日と3日に大田市内の4会場で農業用廃プラスチックの回収を行いました。

3日の回収会場となった大田市久手町の刺鹿米倉庫では、53名の組合員・利用者が、ビニールや育苗箱、農業用マルチの回収を委託し、2日間で約14トンを回収しました。

今後もJA石見銀山地区本部では、関係機関と連携し、廃プラスチックの回収を通して、環境に配慮した農業の推進に取り組みます。



持ち込まれた廃プラスチックの計量を行う職員

出雲

## 女性部・やすらぎ会が古着贈呈 JA役職員にも呼びかけ2,337枚

JAしまね出雲女性部と同やすらぎ会が、「古着Tシャツで地域貢献活動」で集めたTシャツを出雲市の高齢者福祉施設「みどりの郷」4施設と就労継続支援事業所「ぼてとはうす」へ寄贈しました。ウエス（汚れを拭く布）として介護に役立ててもらおうと企画したもので、部員、会員のほかJA役職員にも呼びかけ、7～10月にかけて2,337枚を集めました。

12月13日に贈呈式を行い、同女性部の高野智子部長、同やすらぎ会の片伊勢妙子会長が「みどりの郷 出雲」の中尾忠正施設長にTシャツ700枚を贈りました。高野部長は「現場でウエスをよく使われると聞いて企画しました。今後ものようなことでお役に立てるか情報収集し、地域貢献に努めたいと思います」と話しました。



高野部長（中央）と片伊勢会長（右）から中尾施設長（左）に贈呈



西いわみ

## 就農相談バスツアー 生産現場を見学

島根県主催の就農相談バスツアーが12月7日～8日にかけてあり、県外からの参加者が県内各地の生産者や生産法人、農林大学校などを巡り、経営や作業内容などを見学しました。

同ツアーには関東方面などから17名が参加。一行は県東部の出雲空港に降り立ち、初日は出雲市の生産者、大田市の県立農林大学校を訪ねました。

最終日は県西部の江津市、浜田市と益田市で法人や生産者を訪ねました。

益田市喜阿弥町の国営西部農地開発地でぶどう栽培面積110アールを手掛ける森原孝さん（44）のハウスを訪ねた一行は、森原さんに就農動機や経営規模、就農開始からの苦労や課題などを質問しました。

森原さんは、5年前の就農時に国や県、JAなどの支援事業が役に立ったと答え、参加者に就農時の作物選定にはブドウを選んでほしいと話しました。



本店

## シンガポールで西条柿をPR 販路拡大を目指す

JAしまねと島根県は今シーズン、新規輸出先となるシンガポールのドン・キホーテ（現地店舗名：DON DON DONKI）で島根県産柿「西条」を販売しました。台湾や香港といった東アジアへはこれまで輸出していましたが、シンガポールへの輸出は初めてとなります。果物消費が高いアジアで販売し、更なる販路拡大を目指します。

販売したのはシンガポールの5店舗と今年新たに開店した香港の店舗。11月にはJA職員らが現地です「西条柿」「島根あんぽ」「干し柿」を販売PR。現地の人は「西条」の形と黄色の色味が珍しい様子でしたが、試食すると「甘くておいしい」と好評でした。現地のバイヤーからは「生果を来年は倍ぐらい取り扱いたい」と要望があり、対応した職員も「実際に販促して売れ行きや現地の人々の反応もよかった」と手ごたえを得ました。今後は6月のデラウェアやシャインマスカットから西条柿の取扱いへとつながるよう交渉を進めていきます。



島根産西条柿のおいしさをPRした  
（写真はシンガポールの店舗）

島根  
おおち

## 地元の味覚を全国へ「味の絆」

島根おおち地区本部では、毎年お歳暮時期に合わせて、管内の農畜産物と加工品を贈答用品として取り扱う『味の絆』の発送を行っています。



この『味の絆』は、管内農畜産物の質の向上を目指すとともに、地元の味覚を全国に味わってもらおうと行なっているもので、北海道から沖縄まで、全国各地に発送しています。取扱う商品は、人気の石見和牛肉のすき焼きセットや管内の加工場で製造したきなつき餅の他、島根おおち地区本部で振興に取り組む特別栽培米「石見高原ハーブ米こしひかり」、「石見高原ハーブ米きぬむすめ」また、石見高原ハーブ米コシヒカリを原料とした純米酒「邑華<sup>ゆうが</sup>」など15種の商品を取扱っています。



今後もより多くの方々にふるさとの旬の味をお届けできるよう、販売数増加を目指し取組みを行ってまいります。

今年度の取扱いは、12月20日（金）の発送をもって終了となりました。

いわみ  
中央

## 米袋でオロチ作り！

いわみ中央女性部金城波佐支部（佐々岡寿美枝部長）は11月3日の波佐文化祭で、神楽に登場するオロチを米袋で作成展示しました。

波佐支部ではこれまでも米袋でウエディングドレスとタキシードなどを作っており、今回は4作品目となります。今回オロチを制作するにあたり、特に頭（かしら）の部分に一番苦労しました。オロチの神楽面を借りるなど試行錯誤の中、製作期間およそ2か月の大作が完成しました。目と口は光るような仕掛けになっており、オロチを見た人は本物さながらの出来栄えに感動していました。

今後は浜田市金城町波佐地区内の「小波の郷」にて常設展示される予定となっています。





# 新年のご挨拶

島根県農業協同組合 やすぎ地区本部

常務理事本部長 伊藤 精一

皆様、新年明けましておめでとうございます。

ご家族おそろいで、清々しい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

令和2年の年頭にあたり、組合員をはじめ地域の皆様から旧年中に賜りましたご支援、ご協力に対しまして、厚く御礼申し上げます。

昨年の世相を反映する漢字は「令」が選ばれました。新元号「令和」に、新たな時代の希望を感じた1年でしたが、10月には消費税増税が実施され、また、1年を通して自然災害が多く発生した年でもありました。新しい年を迎え、本年が自然災害のない明るい年となるよう願っているところです。

昨年の安来地域の農畜産物状況について、水稲では、田植え時期は概ね好天に恵まれたものの、一部の地域では水不足により作付けできない圃場がありました。収穫量については、登熟期の高温の影響で収量減及び品質低下を招き、作況指数は

「99」の平年並みとなりました。また、集荷については、出荷契約数量203千袋に対して173千袋で集荷率85%の実績となり、1等米比率については54%となりました。

特産の状況については、苺は病害虫の発生も少なく安定した出荷となり、梨と葡萄においても単価が安定し良好な販売環境となりました。また、一般野菜と花卉は全期間を通じて価格が不安定に推移しましたが、出荷量は多く、全体では昨年同様に対し105%の実績となりました。

畜産の状況については、子牛は素牛不足から底堅い相場となっており、弱含みで推移する枝肉相場の影響を受けて不安定な取引が続いています。酪農については、取引乳業の変更に伴う問題発生を懸念しましたが、支障なく移行することができました。

また、精米事業では、安来市ふるさと納税返礼品として多くのBG無洗米並びに金芽米を全国へ出荷することができました。引き続き、精米

HACCP認定工場として効率的な生産と衛生管理に取り組んで参ります。

さて、JAしまねは本年3月に統合5周年を迎えます。そうした中、統合メリットを引き続いて発揮し、経営の健全性確保と意思反映（JA自己改革）を実施すべく、組合員の皆様からJAがなくてはならない存在として認めていただけるよう「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に引き続き取り組んで参ります。

昨今、大きく農業情勢が変革する中で、組合員の皆様から選んでいただけるJAであり続けるため、組合員の身になって、愛され、そして必要とされる組織を今後も目指して参ります。

最後になりますが、令和2年が組合員・地域の皆様にとって「幸」多き年となりますよう、心からご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

## 謹賀新年

令和2年の年頭にあたり、旧年中に賜ったご支援、ご協力に対し、厚く御礼申し上げます。本年もよろしく願い申し上げます。

島根県農業協同組合 やすぎ地区本部 役職員一同



## おいしいお米グランプリ表彰

やすぎ地区本部は11月26日、令和元年産米品評会「おいしいお米グランプリ」の表彰式を開催しました。安来管内の集落や集落営農組合からコシヒカリ18点、きぬむすめ17点が出品されました。食味値や味度値を測定する1次審査と消費者の試食評価の2次審査による総合得点で順位が決められ、審査の結果、コシヒカリの部では『奥の谷』、きぬむすめの部では『宇丹波』がそれぞれグランプリに輝きました。入賞結果は以下の通り。



### 【コシヒカリの部】

- 第1位 奥の谷 (伯太町下小竹)
- 第2位 滝谷集落 (広瀬町東比田)
- 第3位 前谷 (広瀬町東比田)

### 【きぬむすめの部】

- 第1位 宇丹波 (伯太町上十年畑)
- 第2位 畑田輪稲作組合 (広瀬町菅原)
- 第3位 新宮田んぼの会 (広瀬町富田)

## 大型特殊免許（農耕車限定） 取得講習会開催

やすぎ地区本部は11月12日・13日の2日間、やすぎ担い手支援センターで大型特殊免許（農耕車限定）の取得に向けた講習会を開催しました。市内の営農組合や担い手農家など総勢10人が受講し、基本操作の確認や試験のポイントなどを学びました。

近年、営農組合や大規模農家において大型機械の導入が増加する中、組合員からの要望と免許を取得し安全に使用してほしいという思いから毎年開催しています。講師は免許を持つJA職員がつとめ、受講者は交通ルールなどの座学講座を受けた後、敷地内で実際に大型トラクターを運転し、走行確認や方向変換などの練習をされました。

試験は11月18日に松江市の島根県免許センターで行われ、見事全員合格！JA職員は「大型機械の安全使用と積極的な導入で農作業の効率化を図っていくため、今後も免許取得の推進に力を入れていきたい」と話しました。



## 農畜産物で安高選手を激励

やすぎ地区本部は12月6日、全国大会出場を決めた島根県立安来高等学校の男子、女子バレーボール部と男子、女子フェンシング部を激励するため、伊藤精一本部長が同校を訪れました。

伊藤本部長は「JAも地元企業として、選手の皆さんに頑張ってもらいたいため、お米と農畜産物をお贈りします」と話し、代表選手4人にJAしまねの金芽米5kgと地元農畜産物の目録を手渡し激励しました。

目録を受け取った男子バレーボール部キャプテンの仲佐くんは「今まで多くの方々を支えられてきましたので、感謝の気持ちを忘れずプレイし、優勝目指して頑張ります」と意気込みました。



## 駅伝でタスキをつなぐ

やすぎ地区本部は11月24日、広瀬町で開催された第68回安来市駅伝競走大会に参加しました。毎年行われるこの大会は安来市体育協会と安来市陸上競技協会が主催し、今年も各地区の体育協会やクラブ、事業所など14団体が参加し、熱戦を繰り広げました。



コースは山佐交流センターから広瀬中央交流センターまでの13.8km6区間。ランナーは沿道からのたくさんの応援を受けながら、一所懸命走り抜き最後までタスキをつなぎました。走り終えたランナーは「たくさんの応援をしてもらいながら、皆さんと一緒に走れて楽しかったです」と話し、汗をかきながら地域の方と交流を深めました。

今後とも地区本部は地域を盛り上げるため、地域イベントへの積極的な参加を通じて、JAの基本目標の1つである「地域の活性化」に努めています。



トへの積極的な参加を通じて、JAの基本目標の1つである「地域の活性化」に努めています。



安来の元気な子ども達を紹介します！

MIRAI  
KIDS

# 未来の 主役 たち

みはる  
廣江美春ちゃん(4さい)



可愛いドレスでインタビューに答えてくれた美春ちゃんは、プリキュアとディズニーのプリンセスが大好きな女の子。食べ物ではウインナーと餡子が好きみたい（こし餡派）。また、野菜が少し苦手なようで、今は克服できるよう練習中！

性格はちょっと照れ屋さん。だけど、普段は活発な子でかけっこが得意！あと、負けず嫌いな性格もあるみたい。また、近々引っ越しをするそうで、週末には家族で新しい家を見に行き、レイアウトなどを決めているんだって。

そんな美春ちゃんは保育所のお友達や先生に色紙などで作った作品をプレゼントしたり、年下の子の面倒をみたりする優しい子で、将来は保育士になるのが夢な女の子です。

### ～お父さんお母さんより～

「いつも元気いっぱい、ニコニコ笑顔の美春にお父さんとお母さんはいつも元気をもらっています。これからも美春の優しい気持ちを大切に大きくなっていってね。」

## 家の光 料理倶楽部

講師：栄養士 飯塚生美子氏



## ほうれん草のキッシュ



料理は家の光1月号174頁を参考にした先生のオリジナルレシピです♪

### 活動記録

12月は、フランス料理の「ほうれん草のキッシュ」を作り、卵の黄色が鮮やかでオシャレに仕上がりました。他にも卵を使った「白菜と卵のあんかけ」や「フレンチトースト」、小麦粉の代わりに餅を使った「お餅でお好み焼き」などを作りました。



入部希望者は、ふれあい福祉課 (0854-22-3751) まで



# ふれあい福祉課だより

## ～ 心和む「弦」の調べ ～

ある土曜日の午後、デイサービスふれあいに「弦」の調べが静かな感動を広げました。

島根県立安来高等学校の弦楽部のみなさんによる演奏が行われ、ご利用者のみなさんはバイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバスの弦楽器を間近で目にしながら、演奏を聴かれました。演奏を聴くことはほとんどの方が初めてでしたが、若いみなさんによる厳かな弦の響きに全員が感動を覚えました。とくに、いつもと違う趣の「ふるさと」は、演奏にあわせてご利用者のみなさんも歌われ、中には涙する方も見受けられました。

安来高校弦楽部のみなさん、素敵な演奏をありがとうございました。



### お問い合わせ

JAしまね やすぎ福祉サービスセンター  
TEL: 23-8230 FAX: 23-8231



## 女子大レポート

第8回  
講座

夢いっぱいのライフプランづくり 講座

講師

前田 希美氏



今回の女子大は、一般社団法人家の光協会の前田希美氏を招き、ライフプランづくりを行いました。テキストとして家の光12月号とその付録を使い、今後10年間に起こるライフイベントの整理や実現したい夢などをテキストに記入しました。学生は話し合いの中で、子供の入学などの出費や家族旅行をするための資金などたくさんの意見を出し合い、長期の生活設計を立てました。

### 学生感想

- ◆ 頭でぼんやりと考えていたことでも、いざ書面にすると気づく部分が多いことにビックリしました。
- ◆ 自分や家族が楽しく過ごせるために、前向きに頑張ろうと思いました。



## 平成30年産米の精算結果について

J Aしまねでは、生産者の皆様から出荷いただいた「平成30年産島根米」を下記の考え方によって、買取手法を取り入れた会計管理を行っています。

1. 集荷数量が確定する6月末までに販売した残数をJ Aが時価相当額で買い取る。
2. 出荷時の「仮単価」と、12月の「追加金」の2段階によるお支払いに加え、上記1をもって精算を約1年に短縮する。
3. 販売代金・経費の情報開示による透明性の確保と端額を除き全額精算する。

については、6月末までの販売分について会計管理（共同計算方式）を行った結果、精算可能財源が確保されましたので、下記のとおり最終精算金をお支払いするとともに、精算概要についてご案内いたします。

### 平成30年産島根米共同計算収支報告書（やすぎ地区本部）

※税込

収入・支出項目		単位	本店	地区本部	合計
販売数量		トン	2,697.06	2,912.43	5,609.49
費目	収入	円/俵	14,415	13,931	14,164
	販売代金				
	受入金利	//	0	0	0
	国からの助成	//	0	0	0
	その他	//	111	0	53
	合計 A	//	14,526	13,931	14,217
支出	概算金償還	//	12,978	12,286	12,619
	流通・保管等に係わる経費	//	619	277	441
	概算金金利等	//	34	32	33
	保管料・入出庫料等	//	265	216	240
	保険料・補償料	//	0	0	0
	運賃	//	179	28	101
	安全安心等検査費用	//	1	0	0
	集約保管等経費	//	140	0	67
	事故処理経費	//	0	0	0
	手数料	//	23	464	252
	事務費	//	0	0	0
	生産・集荷・販売等に係る経費	//	119	0	57
	地区本部への支出経費	//	51	0	25
	広告宣伝費等経費	//	58	0	28
	その他生産等経費	//	9	0	4
	需給調整経費	//	26	0	13
	県産米推進協議会等経費	//	0	0	0
	監査委員会費用	//	2	0	1
	その他	//	71	243	160
	合計 B	//	13,838	13,269	13,543
	収入－支出 C = A - B	//	688	662	675
	仮精算（追加払いを含む） D	//	487	384	433
	共計事業預り金残高 E = C - D	//	200	279	241
	翌年産共計繰越 F	//	0	0	0
	本精算 G = E - F	//	200	279	241

※四捨五入のため、内訳と合計が合わない場合があります。

### 平成30年産米 生産者手取価格表

(円/30kg) ※税込

※仮単価は追加金を含んだ金額です。

※出荷数量に最終精算単価を乗じた後の小数点以下は切捨て処理としております。

※右記他の品種に関しては、支店担当者または米穀課にご確認下さい。

お問い合わせ先

米穀課 TEL:0854-23-0417

平成30年産米	等級	仮単価	最終精算	手取価格
コシヒカリ	1 (上)	6,650	197.77	6,847
	1	6,550		6,747
	2	6,200		6,397
	3	5,700		5,897
きぬむすめ	1 (上)	6,500	124.79	6,624
	1	6,400		6,524
	2	6,050		6,174
にこまる	1	6,500	104.37	6,604
	2	6,150		6,254
特別栽培 つや姫	1 (上)	6,850	140.48	6,990
	1	6,750		6,890
	2	6,400		6,540



# 令和元年産米の追加金について

令和元年産米追加金の振込を令和元年12月25日(水)に、下記のとおり実施しましたのでお知らせいたします。

(円/30kg) ※税込

制度	種類	品種	金額
J A米	うるち	コシヒカリ	200
J A米	うるち	きぬむすめ	200
J A米	うるち	ヒノヒカリ	200
J A米	うるち	ハナエチゼン	300
J A米	うるち	つや姫(特別栽培米)	200
J A米	うるち	にこまる	200

(円/30kg) ※税込

制度	種類	品種	金額
一般米	うるち	うるち米(全品種)	100
一般米	醸造用	五百万石	200
一般米	醸造用	佐香錦	200
一般米	醸造用	山田錦	300
一般米	醸造用	緑の米	300

# 中古車展示



J Aしまね **赤江支店** 横で  
 展示しておりますので  
 ぜひご覧ください!

2020

J Aしまね やすぎ地区本部 自動車課

0854-32-2461

お問合せは



# JA直売店舗 年間イベントのお知らせ

平素より、JAの直売店舗をご利用いただき、誠にありがとうございます。令和2年に実施予定の店舗イベントを下記のとおり、お知らせいたします。今年も充実した品揃えと、楽しんでいただけるイベントを企画して、皆様のご来店をお待ちしております！

日程		イベント内容 (実施店舗)
1月	下旬	愛妻の日イベント・大寒 玉子イベント (なかうみ菜彩館)
2月	中旬	生産者によるイベント (GCはしま店)
3月	上旬	やすぎのいちご祭り (なかうみ菜彩館)
	<b>15日(日)~17日(火)</b>	<b>春の彼岸花市</b> (全店舗) ※17日(火) 彼岸の入り
4月	4月中	開駅9周年感謝祭・第8回たけのご祭り・苗もの市 (なかうみ菜彩館)
	中旬	生産者によるイベント (GCはしま店)
5月	下旬	はしま店誕生祭 (GCはしま店)
6月	中旬	生産者によるイベント (GCはしま店)
7月	中旬	生産者によるイベント (GCはしま店)
8月	5日(水)、6日(木)	ひろせ店誕生祭 (GCひろせ店)
	<b>11日(火)、12日(水)</b>	<b>盆花市</b> (全店舗)
	下旬	やさいの日 (なかうみ菜彩館)
9月	<b>17日(木)~19日(土)</b>	<b>秋の彼岸花市</b> (全店舗) ※19日(土) 彼岸の入り
	21日(月)	敬老の日イベント (なかうみ菜彩館)
10月	10月中	新米とまいもん祭り (なかうみ菜彩館)
	中旬	生産者によるイベント (GCはしま店)
11月	11月中	秋の収穫祭 (全店舗)
	22日(日)	いい夫婦の日 (なかうみ菜彩館)
12月	下旬	年末市 (なかうみ菜彩館)
		年の瀬市 (GCはしま店、GCひろせ店)
毎月	10日、20日、30日	卵の日 (GCはしま店、GCひろせ店) ※たまごの特売等
	30日 (2月は除く)	みその日 (全店舗) ※みその特売等
12~5月	<b>15日 (いち・ご)</b>	<b>いちごイベント</b> (全店舗) ※いちごの特売等

※上記のイベントは、予告なく変更・中止になる場合がございますので、ご了承ください。

## お問い合わせ先

グリーンセンターひろせ店 TEL:0854-32-9333  
 グリーンセンターはしま店 TEL:0854-23-7288

なかうみ菜彩館 TEL:0854-23-7310  
 直売店舗課 TEL:0854-28-7200



2月の外務日は  
19日(水)・20日(木)  
担当職員がお伺いします。

### 税務相談会日程

- 広瀬支店 1月20日(月)10時~12時
- 安来東支店 2月3日(月)10時~12時
- 伯太支店 2月3日(月)13時30分~15時30分
- 広瀬支店 2月17日(日)10時~12時

### 年金相談会日程

● 1月27日(月) 9:00~14:00 (安来東支店)

事前にお電話にて相談時間のご予約をお勧めします。  
最寄りの支店または資金課(22-3752)までお問い合わせください。

以下のものをご持参いただければ、詳しいご相談ができます。

- ねんきん定期便 ● 年金手帳及び年金番号通知書(ご本人・配偶者)
- 年金証書(ご本人・配偶者) ● 年金請求書 ● 認印
- 年金加入記録のお知らせ等



## 市況動向

島根中央子牛市場  
(単位:円・頭)

種別区分	地区区分	安来地区	伯太地区	広瀬地区	地区平均	中央市場
雌	平均価格	682,917	655,233	631,675	667,758	606,327
	頭数	12	3	4	19	130
	最高価格	807,400	697,400	677,600	807,400	892,100
又キ	平均価格	763,871	765,600	753,415	758,780	817,009
	頭数	7	5	13	25	159
	最高価格	907,500	799,700	929,500	929,500	1,168,200
総平均価格		712,742	724,213	724,771	719,475	725,965
合計頭数		19	8	17	44	289

#### 12月子牛市場県外移出頭数

	山口県	滋賀県	長野県	宮崎県	岐阜県	徳島県	佐賀県	その他	合計	県外移出率
雌	8	13	3	0	6	14	9	28	81	60.90%
去	22	5	12	15	8	0	3	8	73	44.24%
合計	30	18	15	15	14	14	12	36	154	51.68%

#### 肥育センター5等級評価牛(12月出荷分)

血統	種別	枝重	格付	BMS	備考
百合白清2-福栄-平純勝	去勢	508.2kg	A5	9	
福栄-平茂勝-飛騨白清	雌	413.6kg	A5	8	
光安茂-安茂勝-勝忠平	雌	530.8kg	A5	9	
幸紀雄-安福久-百合茂	去勢	534.9kg	A5	12	枝共優秀賞2席
幸紀雄-勝忠平-茂重桜	去勢	542.6kg	A5	9	
久富福-茂重桜-糸光	去勢	518.2kg	A5	9	

### 雌牛と去勢牛の価格差大きく

令和元年12月の全国主要子牛平均価格(全農・畜産生産部12月17日現在速報)は雌718千円(前月比101%)、去勢808千円(前月比99%)と“保合”の取引となっています。

本県12月の子牛市場は中央市場のみの開設で280頭の取引があり、平均価格は、雌606千円(前回比69千円安)、去勢817千円(前回比4千円高)で“反落”の取引となりました。

今月上場牛は発育良好なものが多く見られ比較的揃っていましたが、一部極端に発育の悪い牛も見られ、価格差が顕著にでた月でした。

また、枝肉相場は消費税の増税に加えて度重なる台風被害による消費環境の悪化、過剰在庫による先行不安から枝肉相場は弱基調で推移しているために、購買者のモチベーション低下が今回の市場に影響しました。



タテのカギ

- ①雲が浮かんだり星が輝いたり
- ③ 2月23日は——誕生日。国民の祝日です
- ⑥受験生が縁起を担いで食べることもある揚げ物
- ⑧人が並ぶとできます
- ⑨港——。城下——。——工場
- ⑩良いだしが出る海藻
- ⑫しばしば野党とやり合います
- ⑬2020年は——年。2月が29日まであります
- ⑮将棋の盤面に並べる物
- ⑰走り高跳びの選手が跳び越えます
- ⑱読経に合わせてポクポクたたきます
- ⑳縁、結、続に共通の部首
- ㉑XとZの間

ヨコのカギ

- ①鬼は——、福は内
- ②天井とかもいの中に作られます
- ③元素記号はFe。身近な金属です
- ④銭湯へ入るときにくぐることも
- ⑤床側に腹を向けて寝そべります。——寝
- ⑦自然の美しい風景を表す言葉、——風月
- ⑩ちらしやCMもこの一手法
- ⑪赤い花が咲く梅のこと
- ⑭√の記号で表します
- ⑯出発——になって忘れ物に気付いた
- ⑱寺院へ入るときにくぐることも
- ⑲酒を飲むと回る人もいます

二重マスの文字をA～Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6		11	13	17	20
2		9		14		
	7		12			
3					18	
		10		15		
4	8			16		21
5					19	

答え

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒692-0014 安来市飯島町1205-1  
JAしまね やすぎ地区本部 ふれあい福祉課 「クイズ」係  
2020年2月5日（水）（当日消印有効）

先月号の答え

「エキデン」

ハ	ソ	モ	ウ	シ	オ
ヤ	マ	チ	カ	ミ	セ
ク	フ	ジ	カ	チ	
チ	エ	ロ	ゲ	ン	リ
コ	イ	カ	コ	ヨ	
ト	ジ	ブ	タ	オ	ウ
バ	キ	ズ	グ	ス	リ

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。

けんこうさんぽ 健康散歩

風邪の予防に乾燥対策を!

JA島根厚生連

冬は寒いだけでなく、空気中の湿度が低くなり乾燥も気になる季節です。部屋を暖めるために暖房を使用することも多いと思いますが、それによって湿度はさらに下がり、空気がより乾燥してしまいます。

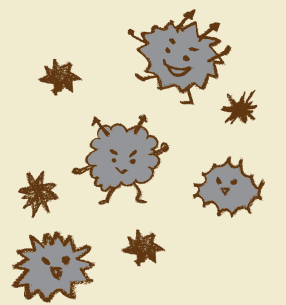
空気の乾燥は、髪や肌など美容面への影響だけでなく、口や鼻の粘膜を乾燥させ風邪やインフルエンザなどの感染に対する防御機能を低下させてしまいます。そのため、風邪にかかり、体調を崩す方も多くなります。子どもや高齢の方は抵抗力が弱く、大人に比べるとウイルスに感染しやすいです。そこで、乾燥対策をしっかり行い、風邪やインフルエンザの予防に努めることが大切になります。

生活をするうえでの適正な湿度は、40～60%と言われています。湿度が40%を下回るとインフルエンザウイルス等が浮遊しやすくなってしまいます。反対に湿度が高くなり、50%以上になるとそれらは減少すると言われています。まずは、自分の部屋の湿度がどのくらいなのかを知るためにも、湿度計を使い部屋の湿度を確認してみましょう。加湿



の方法として、加湿器の使用は有効です。また、加湿器を使う以外にもストーブの上やかんを置いたり、濡れたバスタオルや洗たく物を室内に干したりすることでも乾燥対策になります。

風邪やインフルエンザの予防には、もちろん手洗いやうがい、免疫力を上げるための食事・睡眠も効果的です。加えて今年は乾燥対策をして、より快適に、より健康に冬を過ごしてみませんか。





JALしまね組合員様限定

# 足立美術館 優待プラン

入館料金(大人1名様) 通常 2,300円 → 1,500円(税込)

特別割引券をご用意しております。

ご希望の方は最寄りのJA旅行センター又は県内農協観光各支店にご依頼下さい。

※ご利用対象はご本人様及びご家族とさせていただきます。

高校生 / 通常 1,000円 → 700円  
小中学生 / 通常 500円 → 300円



横山大観「神国日本」(昭和17年)

## 〈冬季特別展〉2月29日(土)まで開催中 日本画のテーマ

巨匠が愛した美

画家たちが生涯に数多く描いたテーマに注目して作品をご紹介します。  
日本画の巨匠たちが愛し、追求した美をお楽しみください。



JR安来駅より無料シャトルバスあり。  
ダイヤはホームページでご確認ください。  
<http://www.adachi-museum.or.jp/>



■開館時間 / 10月~3月: 午前9時~午後5時  
4月~9月: 午前9時~午後5時30分  
年中無休(新館のみ展示替えのため休館日あり)

**足立美術館**  
ADACHI MUSEUM OF ART  
安来市古川町320 TEL.0854-28-7111 FAX.0854-28-6733

## 開館50周年記念 『魯山人館』2020年4月1日オープン

足立美術館が開館50周年を迎える2020年春、新たに『魯山人館』がオープンします。

北大路魯山人の作品を鑑賞するために設計された展示空間で、当館コレクションの中から、常時約120点をご紹介します。魯山人の芸術を心ゆくまで堪能できる場となることでしょう。



### tour 株式会社農協観光

農協観光 島根支店 ☎0852-26-2600  
JAしまねやすぎ旅行センター ☎0854-28-6699  
JAしまね雲南旅行センター ☎0854-42-9118

農協観光 出雲営業支店 ☎0853-21-3305  
JAしまね斐川旅行センター ☎0853-73-9625  
JAしまね石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501

JAしまね島根おち旅行センター ☎0855-83-0008  
JAしまねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820  
JAしまね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587

[プラン有効期限] 2021年3月31日まで

# 得々プラン

山陰・山陽×沖縄  
ケンミンSHOKU会席

期間 令和年 1/5日~4/26日

お1人様/1泊2食付 一室3名様~ 12,000円(税込)  
お1人様/1泊2食付 一室2名様 14,000円(税込)

除外日: 土曜日、休前日

お申し込みはお近くの【JAしまね】旅行センターへ

JAしまね 旅行センター本部 TEL.0853-25-8907	農協観光出雲営業支店 TEL.0853-21-3305	いわみ中央旅行センター TEL.0855-22-8820
農協観光 島根支店 TEL.0852-26-2600	斐川旅行センター TEL.0853-73-9625	西いわみ旅行センター TEL.0856-22-8587
やすぎ旅行センター TEL.0854-28-6699	石見銀山旅行センター TEL.0854-82-3501	農協観光浜田支店 TEL.0855-22-1536
雲南旅行センター TEL.0854-42-9118	島根おち旅行センター TEL.0855-83-0008	

2名様~14名様  
日~金限定  
1日5組限定

のどぐろ飯  
ホテル玉泉  
鯛と白葱鍋  
鳥取県  
広島県  
牡蠣の土手焼き

山陰・山陽×沖縄  
ケンミンSHOKU会席

一食前酒 柚子ワイン  
一前菜 沖縄の豆腐珍味  
(シーミー・豆腐・豆腐揚げ)  
一凌ぎ ミニ沖縄そば  
一焼物代わり 鯛と白葱鍋(旬物)  
一焼物 サワラ煮り  
一焼物 熟成しほ和牛90分焼き  
一焼物 牡蠣の土手焼き  
一焼物 蟹と串の焼物 すずな焼物かけ  
一焼物 ふく刺し  
一食前酒 李と玉泉の飯  
一デザート 梨のコンポート

島根 鳥取

一食前酒 柚子ワイン  
一前菜 沖縄の豆腐珍味  
(シーミー・豆腐・豆腐揚げ)  
一凌ぎ ミニ沖縄そば  
一焼物代わり 鯛と白葱鍋(旬物)  
一焼物 サワラ煮り  
一焼物 熟成しほ和牛90分焼き  
一焼物 牡蠣の土手焼き  
一焼物 蟹と串の焼物 すずな焼物かけ  
一焼物 ふく刺し  
一食前酒 李と玉泉の飯  
一デザート 梨のコンポート

山口 島根 鳥取 広島 岡山 沖繩

●入湯税150円別途頂戴致します。  
●お部屋のタイプとご夕食会場はホテル側おまかせとなります。  
●夕食会場の個室指定は別途料金を頂戴致します。

### ホテル玉泉 利用割引

JA共済保養施設利用割引ーがご利用頂けます。

割引対象 / 島根県JA共済加入者、組合員およびその家族  
割引金額 / 宿泊 2,000円 休憩 1,000円  
※一人当たりの利用金額が3,500円以上の場合適用致しません。



出雲・玉造温泉 政府登録国際観光旅館(登録第880号)  
島根県松江市玉造町玉造5-3-2  
<https://www.hotel-gyokusen.co.jp>  
TEL.0852-62-0021(代)



## かざりかまぼこ (・ばら・うさぎ)



お正月に残ったかまぼこを使い楽しい飾り切をしてみませんか。お弁当に入れたり、食卓にだしたり笑顔が増えますよ。

### ●材料

◆ばら◆	◆うさぎ◆
かまぼこ赤板…………… 1本	かまぼこ赤板…………… 1本
いんげん…………… 1本	ごま

### ●作り方

- |                                  |                        |
|----------------------------------|------------------------|
| ◆ばら◆                             | ◆うさぎ◆                  |
| ①板かまぼこを2～3cmに1枚切る。薄く2枚切る。        | ①板かまぼこを幅2cmぐらいに切る。     |
| ②厚い1枚の真ん中に切れ目を入れる。               | ②かまぼこの赤と白の境目を2/3切る。    |
| ③薄い2枚をくるくる巻き②のかまぼこの中に花になるように入れる。 | ③赤い部分をうさぎの耳になるように中に巻く。 |
| ④硬めに茹でたいんげんを斜めに切り葉に見えるように入れる。    | ④ごまで目を付ける。             |

## かす汁



ほかほか体が温まる汁物がうれしい時期ですね。鮭の粕汁は寒い冬の汁物におすすめです。酒粕と甘めの味噌でこっくりした味に仕上げ、鮭を加えてボリュームをたすレシピです。冬においしい酒粕をぜひ試してみてください。火を通すのでアルコール分はなくなっています。

### ●材料 (4人分)

塩サケ…………… 100g	青ネギ…………… 20g
大根…………… 160g	酒粕…………… 40g
人参…………… 1/3本	みそ…………… 60g
里芋…………… 80g	だし汁…………… 800cc
薄揚げ…………… 1枚	

### ●作り方

- |                      |   |
|----------------------|---|
| ①塩サケは塩抜きして1.5cm角に切る。 | ⑥野菜に火が通ったところに塩サケ、薄揚げ、溶かした酒粕を入れる。          |
| ②大根、人参は短冊切りにする。      | ⑦野菜が柔らかくなったら味噌を入れる。(塩サケの塩分がある場合は少なめてください) |
| ③里芋は1cmの輪切り。         | ⑧器に入れ小口切りの青ネギを入れる。                        |
| ④薄揚げは0.5cmの千切り。      |   |
| ⑤鍋にだし汁、野菜を入れて煮込む。    |   |

## 牡蠣とねぎのそば



とろみのついたあんかけの「牡蠣とねぎのそば」は、いつまでも温かくて体を温めてくれます。牡蠣を入れたら煮すぎないのがポイントです。(牡蠣が硬くなります)

### ●材料 (2人分)

牡蠣…………… 1パック150g	水+めんつゆ…………… 400cc
白ネギ…………… 1本	しょうゆ…………… 少々
そば…………… 2玉	片栗粉…………… 大さじ2
ゆず…………… 少々	水…………… 大さじ3
七味…………… 少々	

### ●作り方

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ①牡蠣は塩をふってもみ、流水の下で洗ってから水けを拭く。 | ⑥沸騰したら味をみて、しょうゆ少々を加え、白ネギが柔らかくなったら牡蠣を入れて、身がふくらとするまでさつと煮る。 |
| ②白ネギは長さ4～5cmの斜め切りにする。        | ⑦水溶き片栗粉を回し入れ、とろみをつける。                                    |
| ③ゆずは皮の部分だけ千切りにする。            | ⑧ゆでたそばに⑧をかけゆずと七味をかける。                                    |
| ④片栗粉と水を混ぜ合わせ、水溶き片栗粉を作る。      |  |
| ⑤鍋に水とめんつゆ、白ネギを入れて煮る。         |  |

### 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は津和野町左鏡の京村牧場から見る雲海です。盆地地形の津和野では、冷え込んで晴れた風の弱い朝などの条件が揃った時に「津和野の朝霧」と呼ばれる霧が濃く発生します。映画「高津川」で主人公が営む牧場のロケ地となった京村牧場からは、眼下に広がる幻想的な雲海を見ることができます。(注:京村牧場は私有地ですので、無断の立ち入りはご遠慮ください)

### 【今月の表紙の原画】

原画の全体は次のとおりです。

### 編集後記

年末に発表される、1年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」。2019年は、新しい元号から『令』の文字が選ばれました。取材で大勢の方と出会った私の、昨年を表す漢字は『会』。今年も県内各地での出会いを大切に、充実した誌面を作ります。12月には「今年の漢字は『成』」と皆様に報告できるよう1年を過ごします。(和)